

我が国の世界遺産暫定一覧表への文化資産の追加記載に係る 調査・審議の概要について

1. 世界遺産一覧表への記載の意義

- ・ 我が国の貴重な文化財の価値が国際的に評価される。
- ・ 記載を目指す過程で地域における総合的な文化財保護の取組みが格段に充実する。

2. 我が国の世界遺産暫定一覧表への文化資産の追加に係る経緯等

- ・ 平成18年度に地方公共団体から提出された24件の提案のうち、4件を我が国の世界遺産暫定一覧表に記載すべき文化資産として選定。その他の20件については継続審議案件とした。
- ・ 平成19年度に地方公共団体から提出された32件の提案(新規提案13件・再提案19件)について、専門分野ごとに4つのワーキンググループを設置して、専門的な見地から詳細な検討を実施。世界文化遺産特別委員会において、各ワーキンググループの報告を踏まえて、調査・審議結果を取りまとめた。
- ・ これをもって、平成18年度から開始した一連の提案公募に係る調査・審議が完了。

3. 調査・審議の観点

- ・ 世界遺産としての独自の国際的な観点(「顕著な普遍的価値」等)から調査・審議を実施(世界遺産としての評価は、我が国の文化財としての評価と必ずしも一致するものでない)。
- ・ 「平泉」の記載延期(平成20年7月世界遺産委員会決議)など、世界遺産の新規推薦に係る審査が厳格化する傾向なども考慮。

4. 地方公共団体からの提案に対する審議結果の概要

- ・ 提案32件のうち、顕著な普遍的価値を持つ可能性が高いと認められた5件を、「世界遺産暫定一覧表記載文化資産」として世界遺産暫定一覧表に記載。その他の27件については「世界遺産暫定一覧表 候補の文化資産」として整理。

(1)世界遺産暫定一覧表への記載が適当とされた文化資産(5件)

- ・現時点において、顕著な普遍的価値を持つ可能性が高いと認められたもの。
- ・但し、提案の内容のままでは国際的な評価を得る上で不十分であり、世界遺産の推薦に向けて、世界遺産としての顕著な普遍的価値の確実な証明、資産構成の整理等が必要。
 - ・「北海道と北東北を中心とした縄文遺産群」(北海道・青森県・岩手県・秋田県)
 - ・「九州・山口の近代化産業遺産群」(福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県・山口県)
 - ・「宗像・沖ノ島と関連遺産群」(福岡県)

※「金と銀の島、佐渡」(新潟県)

※「百舌鳥・古市古墳群」(大阪府)

上記の※印2件については、それぞれの課題が整理できた段階で、世界遺産暫定一覧表への追加記載について、関係省庁連絡会議に諮る予定。

(2)世界遺産暫定一覧表候補の文化資産(27件)

- ・現時点では、世界遺産としての顕著な普遍的価値を有する可能性が高いとまでは評価されなかったものであるが、我が国の歴史や文化を表す一群の文化資産として高い価値を有すると認められる。
- ・今後、地方公共団体が中心となって、顕著な普遍的価値の証明等に向けた調査研究や、文化資産としての保護、まちづくり・地域づくりに活かすための取組等を推進することを期待。
- ・今後の取組の手順等によって、以下の通り分類。今後の作業の進展状況に応じて、世界遺産暫定一覧表への記載について検討。

世界遺産暫定一覧表候補の文化資産「カテゴリーⅠ」

I a 提案書の基本的主題を基に準備を進めるべきもの

I b 主題に関する調査研究を行い、一定の方向性が見えた段階で準備を進めるべきもの

世界遺産暫定一覧表候補の文化資産「カテゴリーⅡ」

主題の再整理、構成資産の組み換え、更なる比較研究等を要するもの

5. 今後の調査・審議等について

- ・今後の暫定一覧表の追加記載については、その手法や時期等を将来的に検討。
- ・既に世界遺産一覧表に記載されている文化遺産をはじめ、世界遺産暫定一覧表に記載されている文化資産、及び「世界遺産暫定一覧表候補の文化資産」についてはいずれも高い価値が認められるものであるため、我が国の歴史や文化を表す文化遺産として、その価値を国民が共有していく方策について、今後、更に議論を進めることが必要。

世界文化遺産特別委員会 調査・審議結果について

暫定一覧表記載文化資産	暫定一覧表候補の文化資産	
	カテゴリーⅠ	カテゴリーⅡ
<p>世界文化遺産委員会報告を受け、暫定一覧表に記載すべきもの (但し、主題の強化、構成資産の選択、更なる文化財指定などが必要)</p>	<p>提案書に基づく一定の主題を基に準備を進めるべきもの</p>	<p>主題の再整理、構成資産の組み換え、更なる比較研究等により、内容を大幅に見直す必要があるもの</p>
<p>◎「北海道・北東北の縄文遺跡群」 《北海道・青森県・岩手県・秋田県》 (※但し、推薦に当たっては上記4県以外にも広げる必要あり)</p> <p>◎「金と銀の島、佐渡」 《新潟県》 (※世界遺産「石見銀山」の拡張として推薦する必要あり)</p> <p>◎「九州・山口の近代化産業遺産群」 《福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・鹿児島県・山口県》</p> <p>◎「宗像・沖ノ島と関連遺産群」 《福岡県》</p> <p>◎「百舌鳥・古市古墳群」 《大阪府》 (※但し、暫定一覧表には、世界遺産の評価・管理等に関する課題が整理できた段階で記載)</p> <p>(※「松島」《宮城県》については、縄文時代の貝塚の一部について「北海道・東北の縄文遺跡群」に統合の可能性あり)</p>	<p style="text-align: center;"><u>提案書の基本的主題を基に準備を進めるべきもの(Ia)</u></p> <p>○「最上川の文化的景観」 《山形県》</p> <p>○「四国八十八箇所霊場と遍路道」 《徳島県・高知県・愛媛県・香川県》</p> <p>○「阿蘇」《熊本県》</p> <p>○「天橋立」《京都府》</p> <p>○「錦帯橋と岩国の町割」 《山口県》</p> <hr/> <p style="text-align: center;"><u>当面、以下の主題に関する調査研究を十分に行之、主題及び資産構成に一定の方向性が見えた段階で準備を進めるべきもの(Ib)</u></p> <p>○ 近世の城郭と城下町関連の文化資産 ・「萩」《山口県》 ・「城下町金沢の文化遺産群と文化的景観」《石川県》 ・「松本城」《長野県》</p> <p>○ 近世の寺社とその門前町関連の文化資産 ・「善光寺と門前町」《長野県》</p> <p>○ 近世の教育資産 ・足利学校←「足利学校と足利氏の遺産」《栃木県》 ・弘道館←「水戸藩の学問・教育関連遺産群」《茨城県》 ・閑谷学校←「近世岡山の文化・土木遺産群」《岡山県》</p> <p>○ 近世の街道と宿場町関連の文化資産 ・「妻籠宿・馬籠宿と中山道」 《長野県・岐阜県》</p>	<p>○「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」 《北海道》</p> <p>○「松島」(提案全体について) 《宮城県》</p> <p>○「水戸藩の学問・教育関連遺産群」(提案全体について)《茨城県》</p> <p>○「足利学校と足利氏の遺産」(提案全体について)《栃木県》</p> <p>○「足尾銅山」《栃木県》</p> <p>○「埼玉古墳群」《埼玉県》</p> <p>○「近世高岡の文化遺産群」 《富山県》</p> <p>○「立山・黒部」《富山県》</p> <p>○「霊峰白山と山麓の文化的景観」《石川県・福井県・岐阜県》</p> <p>○「若狭の社寺建造物群と文化的景観」《福井県》</p> <p>○「(岡谷の)日本製糸業近代化遺産」《長野県》</p> <p>○「飛弾高山の町並みと祭礼の場ー伝統的な町並みと屋台祭礼の文化的景観」《岐阜県》</p> <p>○「近世岡山の文化・土木遺産群」(提案全体について)《岡山県》</p> <p>○「三徳山」《鳥取県》</p> <p>○「山口に花開いた大内文化の遺産」《山口県》</p> <p>○「宇佐・国東」《大分県》</p> <p>○「竹富島・波照間島の文化的景観」《沖縄県》</p>
5件	13件	17件(14件)